

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童発達支援施設 やさしい森のボロ 児童発達支援 ルミウス		
○保護者評価実施期間	R8年1月5日 ~ R8年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	R8年1月26日 ~ R8年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 音楽療法士による音楽活動を行い、子どもたちの表現する力を引き出している。 言語聴覚士によることばの理解、表出、コミュニケーションを促す支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な楽器や音楽に触れることにより、情操に働きかけたり、自分を表現する体験を積み重ねていく。 親子での遊びの中で共感的なことばに触れる機会を増やし、人との関わり合いの中でやり取りを史重ねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもたちの興味関心に合わせながら、様々なことばや音楽にふれ、表現する体験を通して人とのコミュニケーションを楽しむ経験を積み重ねていきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援との連携により、通所している園と情報共有することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援と一体的に行い、保護者様や園との情報共有を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同様、就学時の移行の際には、保育所等訪問支援と連携しながら、支援内容等の共有を園だけではなく、就学先の学校とも行い、相互理解をさらに深めて支援していきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様が相談しやすい雰囲気や機会をつくり、情報共有や助言等が行いやすい環境を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談を待っているだけではなく、保護者様の様子の観察を行い、気になるときは心配事がないか声をかけている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでと同様に、様子の観察や雑談等を通じて相談しやすい雰囲気作りをさらに意識して行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者間の交流や地域との交流の機会、ペアレント・トレーニングの研修を行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同様計画立案が不足している。 ペアレント・トレーニングを行うにあたり職員の確保がまだできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間行事に予定を組み込み、保護者様へお知らせをしている。 ペアレント・トレーニングの研修について、内部職員だけでなく、外部講師への依頼も再度検討していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ホームページはあるものの、日常的な療育の様子を発信できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSの利用がなかなかできておらず、詳しい職員も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSの利用も見据えながら、紙ベースの通信等の作成も検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型児童発達支援施設 やさしい森のボロ 児童発達支援 ルミウス
------	--------------------------------------

公表日 令和 8 年 3 月 1 日

利用児童数

9名

回収数

5名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	80%	20%				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	80%	20%				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	40%		40%	20%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20%	40%	20%	20%	兄弟等へ特性の理解を伝えていただけるの情報がほしい。	施設の中でペアレントトレーニングなどの情報提供ができるように検討していきたいです。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		20%	80%			
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	80%	20%				
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		40%	40%	20%			

の保護者等へ	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20%	20%	20%	40%	
		24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		20%		80%	
		25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40%	40%		20%	
		26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20%	20%		60%	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	80%	20%				
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型児童発達支援施設 やさしい森のポロ 児童発達支援 ルミウス		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	利用児童が増えるに対応が難しいケースがあるため、利用については調整を行っている。	現在、児童発達支援の常勤担当者が1名であり、場合によっては現場が回らないことがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	危険個所にマットを立てるなど、安全に留意して活動を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%				
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		業務改善のためのPDCAサイクルを職員が意識して取り組んでいる。	現在は個々での取り組みが多いが、今後は個々の取り組みを全体で一体化したサイクルにして行く必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%		第三者委員会は選定したが、昨年同様に第三者委員会の外部評価を得ることが難しい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		昨年同様、計画的に受講する機会を設けて、受講を促している。	昨年同様、法人内での研修の機会が少ない。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		集団活動の中で個別的な関わりが必要を感じた場合に声をかけ、個別活動も合わせて行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		非常勤職員とも打ち合わせを行い、内容と役割を伝えて主体的に参加できるように支援している。		

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		支援内容を細かく記録している。	記録に時間がかかっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%	療育と保訪の職員が別の場合があり、情報共有に気を付けている。	今後も情報共有の仕方を検討していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		子どもが通園している園の保育士が療育を見学に来ており、情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	75%	25%		昨年同様、職員個々でのつながりによるスーパーバイズはあるかもしれないが、事業所としての機会は今のところ無し。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%		昨年同様、事業所の中だけで完結しており、交流や活動の機会はまだ無い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		マンパワー不足もあり、家族等が参加できる研修の機会を設けることができていない。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%		保護者同士のつながり支援はできておらず、また、機会の提供もできていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%		昨年同様、通信等の作成やSNS発信の得意な職員があまりいないため、日常的な活動の発信ができていない。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%				

保護者への説明	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	講師を招いて一般参加型の講演会や利用者家族を招いて行事を行った。	事前準備等が不足している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	マニュアルの策定や避難訓練等は定期的に行っている。	家族への周知が不足している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%		水分補給だけの提供であり、食事、おやつ提供が無い場合、対応については今後必要があれば行う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	75%	25%		